



第 1649 回例会

平成 23 年 2 月 28 日 (月)

12:30~ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

3. 出席報告

会員総数 65 名 出席者数 36 名

出席率 55.38% 前回修正出席率 76.92%

4. 会長スピーチ

みなさん今日は。WC
S フィリピン・セブ島訪
問に山畠国際委員長は
じめ、6名の方が参加し
ていただきご苦労様で
した。御礼申し上げます。

今週末にライラセミ
ナーが高野山で開催さ
れます。

「ロータリー100 年の森
林」に参加する青年達に
植林をしていただきます。

2010 年版の手続き要覧が届きました。昨年の規定
審議会の変更になった部分が記載されています。

みなさん、E クラブをご存知ですか？また、プロバ
スクラブをご存知ですか？何れも今、ロータリーの中
では話題になっているクラブです。折に触れて、皆様
も知識の中に入れておいてください。

3 月 19 日に P E T S が開かれます。いずれは、米
田氏と林氏が握手をする写真が月信に載せてもら
たいものです。

5. 幹事報告

幹事 上野山 雅也君

○メイクアップ

和歌山東南 R C

2 月 16 日 中村雅行君

○休会のお知らせ

岩出 R C

3 月 31 日 (木)

○3 月のロータリーレート

1 ドル=8 4 円

会長 谷脇 良樹君



6. 委員会報告

○国際奉仕委員会 委員長 山畠 弥生君
WCS セブ島の視察(24~27 日)に行ってきました。

○社会奉仕委員会 委員長 岩井 克次君
3 月にポケットコインの寄付協力をお願いします。

○35 周年記念誌部会 部長 上南 雅延君
35 周年記念誌を配布いたします。

○親睦活動委員会 委員長 柳生 享男君
イーストクラブゴルフコンへの出席お願いします。

7. 会員卓話

中西 秀文 様

地区のロータリー・リード
ーシップ研究会 (RLI) パ
ート II に 2 月 20 日、りん
くう国際物流センターへ参
加しました。

RLI は、ロータリー・
クラブの指導者開発計画を
実施するため開かれてい
ます。ロータリー・リード
ーシップ研究会の目的は、
クラブの会長他によって推
薦された、指導者としての
素質を持った特定のロータリ
アンに、教育を受ける機
会を提供することです。



毎年、各クラブの会長は、クラブの指導者候補者と
して(必ずしも、会長候補者というわけではありません)
会員を指名するように要請されます。指名された
人は、ロータリーの知識と指導力を伸ばすためのコ
ースを受講することができます。コースは、熱心で、独
創的で、ひたむきなロータリアンになるように受講者
を動機づけることを期待したもので、3 日間コースの
全期間出席した人には、完了の認証が与えられます。
講義内容はもっとも斬新なもので、可能な限り参加者
参加形式が採られます。その手法には、グループ・ディ
スカッション、ロール・プレイング、問題解決ワー
クショップ、グループ計画トレーニングなどが含まれ
ています。

参加して、とても勉強になりました。みなさんも、
是非、機会があれば参加してみてください。

8. 閉会点鐘



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：谷脇 良樹 幹事：上野山 雅也 S A A : 三木 正博

次回例会

第 1650 回例会 平成 23 年 3 月 7 日(月)
海南商工会議所 4 F 18:30~



ニコニコ・BOX

山畠 弥生君	WCSでセブ島の視察(24~27日)に行ってきました。参加したみなさん。ご苦労様でした。
宇恵 弘純君	〃
桑添 剛君	〃
寺下 卓君	〃
谷脇 良樹君	WCS参加の皆様ご苦労様でした。 中西さん 突然すみません
上野山 雅也君	中西様、卓話で無理言ってごめんなさい。
中西 秀文君	今日、卓話させて頂きます。



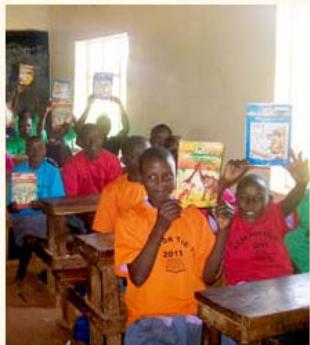
国際ロータリー ニュース

未来の夢で地区の活動が広がる

長年にわたりロータリー財団プログラムを支援してきた第 5020 地区(カナダ、ブリティッシュ・コロンビア州および米国ワシントン州の一部)は、今日、ロータリーの未来の夢計画における最も活発な参加地区の一つとして、さまざまな活動に取り組んでいます。2010-11 年度は、総額 297,103 ドルに及ぶ 12 のグローバル補助金と 187,889 ドルの新地区補助金を受け、「基本的教育と識字率向上」の重点分野に焦点を当てた 3 カ月から 1 年期間のプロジェクトを、15 の国々で実施しています。

地区ロータリー財団委員長のブライアン・ビーグルさんは、今年度、すでに 3 つのプロジェクトを完了したと話します。一つは図書の寄贈、一つは恵まれない家庭への教材寄贈、一つは学校への AED 寄贈でした。同地区では、プロジェクトを考案するために、他クラブの成功例を参考にしたり、実地訪問したりしました。また、実施国側のクラブにニーズ調査を行ってもらうことで、現地の人々やクラブからの協力や信頼が得やすくなったとビーグルさんは説明します。

新地区補助金から 2,500 ドルの資金を受けて図書や教材を寄贈したケニアでのプロジェクトは、英語と



寄贈された本を見せるケニアの生徒たち。この識字プロジェクトは新地区補助金による支援を受けました。写真提供: Brian Beagle

スワヒリ語の識字率向上に取り組みました。ビクトリア・ロータリー・クラブ(カナダ)の活動を模範として開始したこのプロジェクトは、現在 10 校の学校で学ぶ 500 人の生徒を支援するまでに拡大しました。ペルーでは、タコマ・ナローズ(米国ワシントン州)とカマナ(ペルー)の 2 クラブが、3 つの校舎に太陽光発電機を設置し、同様のプロジェクトがフィリピンでも行われています。さらに、新地区補助金で、2 人の奨学生を支援しました。

33,245 ドルのグローバル補助金を受けたホンジュラスでのプロジェクトでは、サンタ・バーバラ(ホンジュラス)とキャンベル・リバー(カナダ、ブリティッシュ・コロンビア州)のクラブが協力し、職業訓練と識字教育を行う学校の教室設備とトイレを整備したほか、制服や靴、カバンなどを寄贈しました。

未来の夢では、それぞれのクラブの専門知識や関心に適った活動ができるので、このように多様なプロジェクトが実施できたとビーグルさんは話します。同地区のロバート・マーチン地区ガバナーも、未来の夢計画によって地区内の参加率が高まったことに興奮を隠せません。「この参加率は、世界をより良い場所にしていきたいと願う、第 5020 地区のクラブやロータリアンの強い気持ちを如実に表すものです」

未来の夢計画

重点分野

ロータリー財団管理委員会は、新地区補助金構成における 6 つの重点分野を特定しました。これらの重点分野は、ロータリアンが世界中で取り組んでいる緊要な人道的ニーズや課題を反映したもので、ロータリーが取り組むほかの国際的な開発活動とも調和するほか、財団の使命を助長するものです。



目的と目標

6 つの重点分野のそれぞれには、目的が掲げられ、また具体的な目標が挙げられています。財団は、目標を基に以下を定めます。

グローバル補助金のパッケージ・グラント・プロジェクトおよび活動、パッケージ・グラントのための協力組織、クラブと地区が立案したグローバル補助金の評価基準、全グローバル補助金の成果を評価するシステム、重点分野における適切なプロジェクトや活動を立案するための指針をダウンロードしてください。

重点分野

- ①平和と紛争予防／紛争解決
- ②疾病予防と治療
- ③水と衛生設備
- ④母子の健康
- ⑤基本的教育と識字率向上
- ⑥経済と地域社会の発展